

幼兒教育

第十二卷 第一七號

大正七年十月五日發行

目次

童話選擇の諸原則……………松村武雄

ニウージイランドにおける母子保護問題……………生江孝之

新江東橋託児所に就て……………梶塚要子

乳兒期から四歳までの子供の食物……………戸伊勢子

会報(夏期講習會其他)

獨逸兒童救濟に對す感謝……………アーヴィング大使

日本幼稚園協会

会 告

本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢

六冊 前金壹圓五拾錢

十二冊 前金 參 圓

(郵券代用壹割增)

購讀申込

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之ば初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のこなき様に願上ます。整理上甚だ煩難致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しうに至ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十年七月十二日印刷
大正十年七月十五日發行

編輯兼發行者 黒瀬 肇
東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印 刷 者 柴山 則
東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印 刷 所 合資 杏林舎
常 舍

發 行 所 日本幼稚園協會

日本幼稚園協會夏季講習會

一、時 日 大正十年七月二十五日より二十九日迄五日間

一、場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講習課目 幼稚園に於ける唱歌

東京音樂學校
助教授

弘田龍太郎君

一、會 費 金 貳 圓 (本會會員は特に二割引のこと) 開會當日御持參相成たし

一、申込期日 大正十年七月二十日限

一、申込場所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日 本 幼 稚 園 協 會

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雑誌たるべく苦心して居ります

日本子供

手
繪
雜
誌

童話

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雑誌です

近來子供雑誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。

單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

八一六)話 電
ニ一九二)川石小 社モドコ 所行發
區川石小市京東
地番七十五町林

第五回唱歌講習會

暨全國小學校教員大會

日期 七月卅一日ヨリ八月六日迄七日間、午前八時ヨリ正午迄
會場 東京市本郷尋常小學校(電車、本郷區役所前 下車)

講師

○唱歌發聲、音程、歌(十六時間) 横濱音樂家 外山國彦君

○音樂と其表現 (二時間) 麻町尋常小學校長 山川耕五郎君

○國民樂の將來 (二時間) 文學士 小林愛雄君

○歌と振 (二時間) 岸邊福雄君

○唱歌と遊戲と童話の調和 (二時間) 田中耕五郎君

○簡易唱歌作曲法 (二時間) 作曲家 田中耕五郎君

○大會協議題 納入會費 (二時間) 弘田龍太郎君

○宮城拜觀 費用 (二時間) 農業科學生 作君

○歌舞 (一時間) 但し五日間練習一日は課外事項とす

遊戲講習會

○律動遊戲 (六時間) 東京市麿町尋常小學校長 土川五治君

○表情遊戲 (八時間) 遊戲法大成會講師 真島睦美君

○動作と表情 (一時間) 遊戲法大成會講師 参加費

圓

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

金

會

費

參

幼兒教育

第二十一號

大正十年七月十五日發行

童話選擇の諸原則

〔總會に於ける講演大要〕

東京帝國大學講師
文學博士

松村武雄

最近の傾向では、童話にいろいろの種類がある。

我々大人の心の中に潜んでゐる「子供の心理」に訴へるもの即ち大人のために書かれたものがあり、子供が自分でつくつた童話がある、また、未開人がつくつた多くの話は何れも大人を相手としたものである。

それから、現代の大人が子供のためにかいだ童話がある。今日此處で、私がお話しようとするのは、大人のために大人がかいたものでもなく、子供自らがつくつたものでもなく、大人が、子供に與へるためにかいだ童話及び昔から存じて居るものについてである。そこで童話には、自ら優劣の差があり、取捨選擇の必要のあるは申す迄もない。次にその選擇について述べて見る。

◎大體論

一、主知論　主情論

主知論といふのは、即ち知的方面、科學的方面を重する一派で、學問的知識に背戻し、科學的正確に矛盾する話は、子供にまかせてはいけないとする。

勿論、知的方面を重するといふことはよいが、私の考では、大人の科學が必ずしも子供の科學にはなるまいと思ふ。子供には、たしかに、子供の科學がある。例へば雷様がお臍をとりに來るといひ、桃の中から赤坊が生れるといつても、児童のある心的發達時期には、これを何の不思議もなしに信するのである。子供の心理状態は大人とは違ふ、彼等がある解

釋に眞實性を認めてゐる間は、それが大人の科學と一致して居らぬからといつて之を排斥するには及ばない。童話の目的は、知的な科學的なものを教へこむといふことを第一義とするのではない。また兒童の心性が多少發達して科學的にそんなことはないと知る時代になつても、おはなしとしては、興味を存することがある。

「兎、兎、何見てはねる、十五夜お月様見てはねる」。といふのでも、實は月を見てはねるのではなくて、自分の先にゆく仲間の兎の尾の下の白いところを見てついて行くのである。わかつて來ても、お月様を見てはねるといふところに童謡としての面白さがある。兒童はそこを喜ぶのである。

主情論といふのは、主知論と反対に、只管科學的知識の勃索をきらつてたゞ、濕ひのある、情緒的な要素を取扱ふのが童話の本質的な目的であるといふのである。これもまた一方に偏した考へ方で、何も知的方面を入れてはわるいといふ事はない。

要するに、この何れの一方に偏してもよくないのである。

二、教訓中心説と興味中心説

教訓中心説といふのは、童話の中に何等かの形で必ず道徳的な教訓をふくんでおらねばならぬとする説であるが、これもまた極端である。子供はある時期には、たしかに無道徳の時代即ち道徳といふものが意識の對象にのばらぬ時代に居る、この時代に強いて道徳をもち出しては反つて面白くない結果を生ずる。

興味中心説といふのは、何でも子供の興味を中心させまいといふので、これまたあまり極端すぎる。

一體、教育といふことは、知とか、徳とか、情とか、その一つにかたまるべきものではない。完全、渾一の人格體をつくるにある。それならば、子供の心の糧となるべき童話を選ぶ上にも、何れか一方に偏したものだけを與へよといふ事は出來ない。

要するに、童話は知的方面とか、情的方面とか、或は教訓とか、唯その一つを觀ふべきではない。これらが何れが要素となつてゐてもよい。唯問題はこれらの要素が如何に巧に話の中にあらはれて居るかといふことで、話を持ち立てる事が定まるのである。要はあらはし方の如何によるのである。

たゞし現代の傾向から云ふならば、どちらかとい

へば、主知的にかたむき過ぎてゐるやうである。私達は現代ではもつと柔かな光ある情緒を要求する。情緒が發達しなければ、德者知者はかりではうまく行かぬ。例へば、我々はとかく、櫻を折るべからず、といつておさへつけるが、これを彼等の情的方面から、折るにしのびないといふ心持をおこさせるように、花を愛するといふ性情をやしなふようにしたいのである。

◎細論

○消極的原則

一、児童の生活に適せぬ分子の排除

從來傳はつてゐる話は、現今文化民族が未だ未開時代にあつたときに發生したものが多い。従つてその時代の生活様式や社會組織を反映したものが多くない。女性獲得の爲めの争鬭、宗儀の説明、食物に對する欲求の爲めの窃盜、その他性的關係をあらはしたものなどこれである。かかる要素は児童の生活に適せぬ分子として當然排斥すべきである。

たゞへば「ある所に一人の男子あり、妻及び他に一人の女をもつ、妻は老いて居るので、夫の髪の毛の

黒い部分をぬく事をつとめ、一人の女は若いために、夫の白髪をぬいた。そこで、この男が二人の女の間を往來する中に、頭が禿になつた」。

かゝるものはよろしくない。

また、未開民族の間では食物は價値の中心であつて之を得るための争がなか／＼盛に行はれたので、この頃のもので今殘つてゐる話には残酷なものがある。これもよろしくない。

二、殘忍なる要素の排除

子供には、どうも殘忍性がひそんでゐるようであるが、話の影響のためにこれを助長させるようなことがあつてはならない。北原白秋氏の、

母さん、母さん、どこへ行た、紅い金魚を遊びませう。

母さん、歸らぬ、さびしいな、金魚を一匹つき殺す。
まだまだ、歸らぬ、くやしいな、金魚を二匹縊め殺す。

なせなせ歸らぬ、ひもじいな、金魚を三匹ねぢ殺す。云々^{などは、この意味であまり感心しない。かの昔か}

ら傳はつてゐるカチ／＼山の話はどうよろしくない。もしも、一つの話の中で、その中に含まれてゐる殘忍性をとりのけると話全體が味がぬけてしまふといふような場合には、之を話す時に、その殘酷な部分を、あつさりと、ぶようにして過ぎるのがよい。

三、慘陰奇怪なる要素の排除

子供の時代に、何も好んで慘陰な不思議な話をきかせる必要はないのである。こはいもの見たさといふことは子供にもあるが、かかる種類のものは害あるとも何の益にもならない。例へば英國の童話の中に。

「一人の人が火にあたつてゐると、骸骨が窓から其の男のそばに飛びこんで来る。それが初めに、首、それから、胴、手足、といふように、バラ／＼にとびこんで来る」。

ど、いふごとき話、この中には優雅なところは何もふくんで居らない。かゝるものは避るがよろしい。

四、反道徳的分子の排除

道徳に反したものを取り除けるといふことは、一寸考へれば簡単なようであるが、さて、實際の童話について、果してどの點が道徳にそむいて居るかとい

ふことを見出すといふことは難しいことである。反道徳と無道徳との區別に周到鋭敏な洞察を下すだけの心的優秀がなくては、うまく行くものではない。例へば、グリムのお伽噺の中にある話で、「ある王様に三人の皇子があつた。王様が皇子達に

「お前達の中で最もひどいなまけものに王位をゆづる……」と仰せになり、三人の皇子はお互に怠けくらべの話をする。そして一番うまく怠ける話をしたものが王位が譲られることになつた」。

といふ筋があるのである。これも考へ方一つで、怠慢の獎勵であるからして反道徳的といへば云へないこともないけれども、實際この話をよく讀んで見ると、なまける事を獎勵するのではなくて寧ろ滑稽な明白に道徳に矛盾したことを見ても、平氣であらはしてゐるところに興味を覗つた無邪氣な話なのである。嘗つて、獨逸に於て、修身の教授達がグリムの中から兒童の讀物として適當な童話を選擇したとき、この話がその一つであつたのを見ても、悪い話でないことがわかる。かくのごとく、反道徳を排除するといつてもそれが取捨には深き考慮を要するわけである。

五、形式上の排除

これは、内容ではなくて、表現上のことである。

あまり長き文章及び形容詞の多く用ひられてゐるのは感心しない。児童の呼吸、動作律等に合はないからである。現今行はれてゐる童話の中には、大人には誠に面白くよめるが子供に相應せぬのが可成にある。子供のための童話は、動詞と名詞とを巧みに用ひて、形容詞や副詞を少くするのがよろしい。

子供は動作から来る鮮やかな印象をうけてよろこぶものである。また話の筋が複雑すぎてはいけない。

二つの筋があるとすれば、それが並行せずには必ず主副の関係となつてゐる事が大切である。そうでなければ、いたづらに頭脳をつからせ、話の効果をよわめてしまふ。

○積極的原則

A、主観的原則

主観的原則といふのは、子供の方から見て即ち児童は如何なる要素が含まれてゐるときに最も感興を起すかといふ立場から選ぶ原則である。大人が如何に面白いと思つても子供に果して面白いかどうかはわからない。そこで、如何なる要素がふくまれてゐる時にこれが得らるゝかを考究する事が大切である。

一、生活感

いかに幼なくとも、物心のつく頃から、既に、子供は自己特有の生活に入り、自己の生活を享樂し、自己の生活に興味を持つもので、これから引きはなすことは出来ない。したがつて、話も子供の生活がよくあらはれてゐるのが彼等の興味をさそふので、これは、日頃子供に接して居ればわかることである。

二、親密性

子供は経験が貧弱で、範囲もまことにせまい。それで、自己の経験した範囲のことが話の中にあらはれて來るのを喜ぶのである。岸邊氏が、五歳の子供のつくつた話として、

「どんぼが竹の先にとまりました。飛行機がとびました。どんぼが驚いて飛びました。その時に飛行機から靴をおさしました。すると、お猿が靴を拾ひました。そして木にのぼりました。人が下から竹の棒でつゝきましたら、猿がお辭儀をしました」といふの發表して居られるが、これでもわかるように、子供は自分のせまい経験の範囲内にあるものに興味をもつのである。

三、想像性

子供は少し成長して来るごと、過去の経験を材料として、新しい世界をつくる。この時期には、その話も想像を中心としたものがよい。しかし、想像的な物といつても、之を話の中に具體化、現實化させておく必要がある。感覺的物象化して置く必要がある。また子供の想像力は大人のそれと異つて、誠に自由ではあるが、一面には理窟を欲求する傾向があることを忘れてはならぬ。その想像は實世界の経験に拘束せられ制限せられるといふことが少なくて、まことに大膽な自由なものである。しかし、いかに自由でも大膽でも、其處に實際上の理由がなければ子供は承知しない。例へば、枕で一度たぐくと何でも出るといふ。この時にその杖が魔法の杖であるといふところに子供は理由をおくのである。我々ならばこの場合に無理に魔法といふものを假定せずとも何となく不思議であるといふところに神祕な醍醐の妙味を感じるのであるが、児童にはそんな神韻縹渺たる想像、たゞへばコルレッヂの『古海客の歌』の如き想像の味は解せられぬ。そこに兩者の差異がある。

四、驚嘆

子供は、また、未だ知らざる事物に對して知りた

いといふ欲求がある。これが盛になつて来る時期には新しい事物を熱心に探求せんとするのである。これは、誠に喜ばしい傾向で、充分によく導くといふことが大切である。この時期には話もこの傾向のものを選ぶがよい。かの説話學上で Why So tales と呼ぶる、一群の童話圈の如きは、この欲求に對する好い『心の糧』である。例へば、「何故象の眼は小さいか」といふことを説明して曰く。

「昔々、象は大きな眼をもつて居つた、そこへいたづらな兎が来て、象に見せびらかしながら果物をおいしそうに食べてゐる。象がさくと、「私は自分の眼を出してたべてみると答へる象も自分の眼をたべたくなる。そこで、兎が象の頭の上にのぼつて象の眼を一方とり出して、眼だといつて、持つてゐた果物を象にやる。象はこれを食べると成程うまいので、も一つの方の眼を出してもらふ。その時兎は象の二つの眼をもつてにげてしまふ。象が氣がつくと眼がないので、何にも見えなくなつて困つて、通りがゝりの動物に眼を一寸貸して呉れとたのむ、しかしながら誰も貸して呉れぬ。どう〜蚯蚓が貸して呉れる。象はいそいで之を自分の眼の穴に入れてにげ

る。そこで象の眼は小さくて、蚯蚓は眼をまだ返して貰はぬので眼がないのである」。

かういふ種類の話を子供は眞理性をみとめながらきく時期がある。

五、神祕性

また、子供は不可思議なものを好む。彼等は、不可思議なことをきくと直に或るもののが生ずべしとの期待より来る心的緊張とその或るものが何であるかを知らんとする欲求とが彼等の心に生れる、従つて彼等の興味をひくのである。またいよ／＼その或るもののが現れて来ると、今迄の心的緊張が快くとける、そこにまた興味を感じるのである。例へば、

「ある時、一人の子供が散歩してゐると、小人が鬚を蟹にはさまれて困つてゐるのに出會ふ。そこで之を助けてやると、小人は子供にお禮として杖をくれる。それで岩をたゝくと何か出るといふ。何が出来るだらうかと思つて叩いて見ると、岩の中から七人の騎士が出て来る。その七人がテーブルをかこんで寝てゐる。その中の一人の鬚が長くのびて、テーブルを七巻きする。そこでこの人を起したらどうなるかと思つて、鬚を引きに行く……云々」。

といふごとき話が児童に喜ばれるのは這般の心理にもとづくのである。

六、感官印象

子供は、色、香、運動等、五官にふれるものから強い印象を受ける。西條氏がこれについて實例を語しておられるが、それは、氏がある時、児童を連れて須田町のところで、電車に乗らうとしてゐるゝ幼兒が「蜜柑々々」といふ。欲しいのかと思つて、蜜柑屋を探したがすぐ近所にはない。尙よく見ると電車線路の隅に、小さな蜜柑がころがつてゐたのであつた。また、ある時、氏が幼兒を抱いて、大きな邸宅のまへを通つた。氏は試みに「これは何か」ときいた。家といふだらうと思ひ、またそう教へるつもりであつたところが、子供は意外にも「花々」といふ。見るとその邸宅の隣の隅に芙蓉が咲いてゐたのであつた。全く子供の眼には豪壯な邸宅は眼中になく、たゞ色の美しい花がその感官を刺戟したのである。そこで、この欲求を満足させるような話が児童に愉悦を與へるのである。たゞへば音を取扱つた面白い童話としては、

「豚が橋を通る。橋の下に鬼が居つて、之を喰べよ

うとして、其足音を聞いて居ると、初めて小さな豚

が、キイヽヽと通る。鬼は、もつと大きいのと思つ

て之を見逃すと、次には、中くらゐの豚がギイヽヽと通る。これも感心せぬと思つて待つてゐると、印度は大きな豚が、ガイヽヽと通る。するとその音がひどいのでこはくなつて、鬼が逃げ出した。

といふごとき、又色彩感に訴へた童話としては、ギリシャのお伽噺に、

「少女が池の端に坐して、小刀で木を削つてゐる」と、その木屑が水に落ちる。すると、それが、五色の鳥になつて飛び立つ。その時にその鳥に太陽の光があたつて實に綺麗である。

七、冒險と成功

あまり幼ない頃には、まだこの方面に興味は起らないが、少し大きくなると、冒險談、成功談が、彼等の興味をひく、これは彼等自らの内に有する力を發揮させて、その實際的な證券を得たいといふ欲求にもとづいてゐる。この欲求はわるくいへば亂暴や暴虐になるが、よく啓導されると、自信、勇氣、義侠となる萌芽である。従つてこの傾向を話によつてよ

く導いて行く必要がある。

八、活動性

子供は動的な状態を好むものであるから、これが適當にあらはれてゐる童話は自ら兒童の愛好するところとなる。例へば、印度から日本に傳はつた話であるが「雨家の漏り」といふごときはよき例である。

「或る晩一匹の虎が人間を食べようとして人家に忍び寄る」と、家の内でお爺さんとお婆さんが話をしてゐる。お婆さんが『虎が怖い』といふとお爺さんは『いいえ、虎よりも雨家の漏りの方が怖い』といふ。虎がこの雨家の漏りを怖がつてゐると其處へ馬盜人が来る。そして虎を馬とまちがへてとびのると、虎は『雨家の漏りが來た』と思つて馬盜人をのせたまゝ駆け出す。夜があけて見ると虎の背にあることに氣のついた馬盜人はびつくりして、駆けてゐる途中で近所の木にとびあがつてしまふ。この時虎は、雨家の漏りからのがれたと思つて大よろこびで行くと猿に出会ふ。そこでこの話をすると猿はそれは多分人間だらうといふ。兎に角ひきかへして生體を見届けようと、虎と猿とがひきかへて來る。此時に先の馬盜人は木から足をすべらして、下にあつた穴の中に

落ちてしまつてゐた。猿がその穴の中に尾を入れる。

すると人間はよいつかまり繩が來たとおもつてこれにつかかる。猿はびつくりして「これは本當にあまやの、もりといふ怖いものだ」と急いで逃げる。この時急にのぼせたので頬があのよう眞赤になり、逃げるはづみに尾がされたのである」。

九、滑稽感

滑稽味のあるといふことも望ましい。子供は無邪氣な笑を好むものである。従つて滑稽味を要素とする話は彼等のよい滋味となる。たゞそれがあとけない上品なものでありたい。例へば、アッシリアのお伽噺の中に次のようながある。

「一人の男が子供をつれて人込みの中に出かけた。

あるかせるのに骨がおれたのでその子を肩にのせてしまつた。ふと、氣がつく。今迄つれて居た子供が急に傍におらない。びつくりして探し初め、通りがゝる人皆に聞くが誰もしらない、するこある氣のいた人が「肩の上に居るぢやないか」といつて肩からおろす。するとその男は「今迄何處へ行つてゐた？」と子供に聞く。子供は「先刻から肩の上に居つたのに」といふ。

また、これと同じ様な話であるが。

「七人の男が柴刈りに行く。かへる時に皆をならべて、その中の一人が列をはなれても人數を數へる。自分を數の中に入れることに氣がつかないのでどうしても六人しかおらない。次の人、次の人とかはりくに出て數へるがどうしても一人足りない。大に悲しんでゐると其處へ通りかゝつた旅人が、「それは氣の毒だ、今この足りない一人を出してやらう。そのはかり少し痛いぞ」といつて七人の一人一人を自分のまへに来させて、頭をボカリと打つ。七人そろつてゐる。柴刈りの連中は七人居たといつて大喜びで、その旅人に厚く禮をのべる」。

十、諧張(極大と極小)

大きいといへば、度は分れて大きいもの、小さいといへばごく小さいもの、かういふ諧張した味を含む話を子供はまたようこぶものである。大きい方の話の例としては、

「昔、鵬といふ鳥が居つた。自分が世界中で一番大きいと思ひ込んでゐたが、ある時旅行を思ひたつたが、翼を一度動かすとそのまゝ一里もとぶといふほどである。しかし海上をとびあるく中に草疲れたの

で岩をさがすと、岩は見あたらなかつたが海の上に樹が生へてゐる。そこでそれにとまつて一夜を明かして翌朝とび立たうとするそその樹が動いて、「己の鬚にとまるのは誰だ」といつた。それは大きな海老であつた。そこで鵬はもう自分よりも大きなものがあるといふことがわかつたが、今度は海老が我こそは世界一といふわけで大いばかりで海の中を泳ぐ。疲れて岩と思つてそこにあつた洞穴にとびこむと穴と思つたのは大きな龜の鼻の穴であつた。

また、スカンヂナビアの話に、トル (Thor) といふ雷の神があつて、いつも、槌を携へてゐる。この神がある時旅行した。休み場所を探したが、やつと大きな穴を見つけた。その穴の奥に大小五つの穴が更にあいてゐるのでこれはよいところと思つて、その中の一番小さい穴に入つて其處でねてゐると、その岩がふるえだす。それは巨人の歯のためである。雷神は驚いて槌でその巨人の歯を打つと「何だ、木の葉が落ちたのか」といふ。今度は、巨人の額に槌の柄が入りこむ位に打つと「何だ、ドングリの實が落ちたのか」といふ。雷神も困つてしまつて、夜があけてからよく見ると大穴と思つたのは子を買つて、それをまく、するごと、それが芽を出す。

これは巨人の手袋で、一番小さい穴をおもつて入つたのは巨人の手袋の小指であつた。

極小の話としては、我國では一寸法師の話、また、外國のものとしては「拇指のトム」の話は皆もよく知るところである。

十一、韻律と反復

子供は韻律を愛好する。それは韻律が不知不識の間に彼の motor sense (運動感覺) に訴へて、快き運動を起させる、そこに快感をおぼえるからである。それ故にこれは童話にも童謡にも必要なものである。また話の中に同一もしくは類似の事件をくりかへすといふことを即ち反復がまた大切な要素となる。何故なら反復は物語の筋に明晰と統一とを與ふるからである。そして最小の労力で最大の話をうけ入れられるからである。而して同じく反復といつてもそれにはまたいろいろな形式がある。

A、漸層形式。……類似の事件がくりかへされる度に大きくなる話例へば印度の話に、

乞食が一椀の飯を貰ひうけ。それを眼の前に置いて次の様な空想にふける。この飯を賣つて穀物の種子を買つて、それをまく、するごと、それが芽を出す。

實を結ぶ。それを刈り取つて賣つて今度は牛を買ふ。その牛が兒を生むので、大金持になつて、大なる邸宅をつくり、妻をもらひ、子をもらふ。その子供が、自分の言ふ事をきかないで蹴る。ふと氣がつくと蹴たのは子供ではなくて、眼の前においてある大切な一椀の飯でそのためには飯は地上にこぼれて役にたたなくなつてしまつた」。

B、漸墜形式

「……これは類似の事件がくりかへされる度に小さくなつて行くもので、例へば、「ある男がその妻に向つて話すのに『山で大きな蛇にあつた。太さが五六尺で長さが三町もあるといふ。妻がそんな大きなのはゐる筈がない』と本當にしないので、いや二町ぐらゐであつたといふ。それでもまだ本當にしないので『驚いたから大きく見えたのであらう、一町位であつたらう』……かうしてどうく『三尺位であつた』といふと妻は『太さが五六尺で長さが三尺では、酒樽の様な蛇ですね』など」。

C、循環形式のもの……これは、類似の事件をく

りかりして行く中に出發點にかへるものである。例へば、「鼠の嫁入りの話」の如きはそれである。

「鼠がその娘を嫁にやるのに器量のよい偉い人を

夫にもたせようと思つて、初めに太陽のところへ行つて『あなたが一番えらいから娘をもつて呉れ』といふと太陽は私は雲には勝てぬといふ。そこで雲に行くと、雲は風に勝てぬといふ。風に行くと風は壁にはかてぬといふ。壁に行くと、壁は鼠には勝てぬといふ。そこで結局、鼠が一番えらいといふことになり、鼠の嫁にした。

以上のべたものは、子供自身の心理から見て興味をおこす原因であつて、これらの諸要素を巧にとりあつかつたものが優秀な童話というわけになる。次に、

B、客観的原則

即ち、いかに子供がその主觀的立場から好むとしても、何でも無條件に與へるといふわけには行かない。年齢により、心的發達の如何によつて考へねばならない。そこに客観的な選擇の標準の必要が生れる。

イ、兒童の心的發達の顧慮

一、現實愛好時期

實際に直觀出来るものを愛好する時期言はリニア

リズムの時期をいふので、これは何歳位ときめてしまふことは出来ない。何となれば、境遇によつていろいろあるからである。この時期には、あまり抽象的な話はかへつて食傷してしまふのである。

二、想像駆駿時期

子供が凡そ十年前後になると、たゞ日常ありふれたものだけでは興味がなくなる。盛に想像によつて新しい世界をつくる。この時にはやはり想像的な傾向のものを多く與へてその自然の發達を助けるようにするのがよろしい。しかし、その指導は實際上餘程困難なものである。材料をどこ迄も優秀なものを選ぶべきである。

三、勇力讚仰の時期

少し大きくなると子供は力試しをして見たいといふ時期に入る。古代の偉人に心をひかれたり、偉人とのことを比較したり、實に時代と場所とを超越してしまふ。これが悪く行けば亂暴であるが之をよく聞くといふことは、彼等の自然の發達を助ける上に大切な事である。

四、傳奇趣味の時期

腕力をふるつて、力試しを喜ぶ時期から、間もなく

く落ちついた、しんみりした時代に移る。どちらかといえばローマンチックになつて、情味の勝つた話、愛の問題を含んだものが好きになる。この時期には話もまたそれに適したものと與ふべきである。

口、藝術的顧慮

一、客觀的妥當性

萬人が見て正しいものでありたい。即ち時間の統一、場所の統一、といふことが大切で、さうでないといふ、いたづらに頭脳を錯雜させる。まだからはれて来る人物がその性格に於て始終統一して居らなければならぬ。

二、兒童に特有なる眞實性

これは初めにものべたように、子供の時代には、大人の世界と、ちがつて眞實的を有する世界がある。これを無理にかへないで、彼等の信ずる間は之を打こはさない方がよいのである。

三、Poetic Justice

ポエティカ、ヂヤスティースといふのは、主人公の行為の價値に正當な判断を下すといふことである。よい事をしたものには必ず善き酬があるようといふことである。印度の話には、これが徹底してゐな

いのが多い。即ち佛教國であるがために、その影響をうけて、善いものも悪いものも、皆同じ様に減びてしまふのである。これではよろしくない。

また道徳の標準のことなるために、ある時代の童話をそのまま用ふる事に困ることがある。例へば嘘言ごいふ事をわるいこととしてゐなかつた時代、野蠻な時代にはこれをむしろ一種の徳として居た時代があつた。かかるものが今日迄も使つてゐることしてもそれをそのまま用ふるのはよろしくない。例へば、アフリカの童話に、

「ある男が、他人から五十圓借金をして、それを某月某日の十二時にかへすからその時には鐵砲を用意してさりに來い。といふ。次に豺の所へゆきまた五十圓借りて、その同じ某月某日の十一時に來いといふ。次に山羊から五十圓借りて、十時に來いと約し、貓に五十圓借りて九時に來い。鶏に五十圓借りて八時にならぬと鶏が來る。米に氣がこられて食べてゐると、其の中九時になつて貓が來て、鶏が居るので見て、金のことは忘れてこれを喰べてゐる。

十時になつて山羊が來て、猫を蹴る。十一時に豺が來て山羊をたべる。其處へ十二時に人間が來て、豺が居るので、いきなり之を打つ。叔、男に金を催促すると、豺を打つたのを言ひかゝりにして、どう

／＼一文も金を出さなかつた」
これは、今は通用しない話で、かかるものはさけなければいけない。

四、内容及形式の整正

内容としては、

(一) 話が誠實であらねばならぬ。

(二) 組立が簡素で、美しい統一を有し、筋がよくつかめるようでありたい。

(三) 優雅でありたい。粗雑なもの、卑俗なもの、突き付ける様な態度に出るものは避けねばならぬ。

(四) 安價な涙をさそふものはよろしくない。俗なものはよろしくない。しかし内容の美といふことは誠に難しいもので、これは、選ぶ我々自身の藝術的素養に待たねばならない。教養による外はないのである。

形式の方面としては、既に初めに述べたことではあるが、

(一) 今假りに話を組立てる臨畫を線であるとすれば、必要な線だけでも成立するようになりたい。

(二) 話の筋が、主人公を中心として進んで行く様でありたい。

(三) 一つの話の中に二つの筋が出て来る時は、その二つが並行してはならぬ。必ず主副があらねばならない。

以上述べた所を要するに、話は之を選択せんとする場合に、一方に偏せず、多方面から慮る心を忘れてはならぬのである。また児童の内存的興味や心的發達のそれの階段や、藝術としての形成美、内容美を標準として童話を選擇しなければならぬといふことになる。

見たま、

五つ位の男の子が叔父さんらしい人につれられて電車にのつた。早速に今買つて來た玩具の包みをほどいて内部をあらためてゐる。その顔の輝き。...玩具はセルトイド製の軍艦。その中電車が混み合つて來たのでその軍艦をおさめた。叔父さんは他の買物と一緒に無難作にそれを風呂敷包みに入れようとする。と、子供の両の手はしつかりその箱にしがみついた。眼からは雨がふりさうになつた。頭は横にふつてゐる。

「さあ叔父さんが持つて行かう。こんな大きな箱、坊には持てないよ」かういはれて、子供はまくかたく箱を抱いてしまつた。威程大きな箱であつた。混み合つた電車で、小さい子が、からだの半分もあらう箱を抱いてよろけてゐるのはあぶなく見える。しかしこの子の愛着につよい、手放さないのである。叔父さんの催促がゆるむとこの子は、箱の蓋をそつとあけて内部をのぞいてゐる。いかにもうれしそう。そのうれしいまゝの顔で叔父さんの方を見やうとする。叔父さんは思ひ出したようだ。

「おあ、おだら、わからぬ坊やだねえ」といふわからぬ坊やは、だまつてそのまま急いで窓の方をむいてしまう。再び箱をのぞいてさもわかつたといふ様に一人合點して、誰かにそのうれしい心持を應へてもみたのか、乗合せた人々の方へ、ニコ／＼顔をむける。電車は走つてゐる。ガタンとひどくゆれてその大きな箱が、叔父さんによつかる度にその坊やは叔父さんから煩はされてゐる。

ニュージーランドに於ける母子保護問題

内務省図説 生江孝之(談)

我が國に於きまして、乳兒、幼兒及び母親の保護に關する研究は、こゝ二十年この方に急足に進歩して參りましたが、一國としてこの種の問題の最も發達し且つ效果の多いのは、オーストラリアのニュージーランドであります。一體ニュージーランドは只今世界中で、乳兒及び幼兒の死亡率の最も少い所であります。然らば如何にしてニュージーランドがこれらであります。この婦人及兒童保健協會といふのは、婦人及兒童保健協會が熱心に努力しつゝあるからであります。この婦人及兒童保健協會といふのは、一九〇七年に設立されたもので、ドクトルエフ、ティンギング氏の主張の結果この實現を見るに至つたものであります。元來ニュージーランドは乳兒及び幼時の死亡率が少い所ですが、それでも尙よい保護の方法を講じたならば、死亡率を更らに減少させる餘地があるので、ドクトル、キングは此處をめざして、この協會を設立したのでありました。この婦人

及兒童保健協會が設立されて以來、最近に至るまで十數年間に置きまして、如何なる結果を表してゐるかを示しますと、次の一例に依つても解ります。ニュージーランドロダデン市と云ふ、人口四萬近郊を加へれば六萬位の一都市がありまして、ドクトル、キング氏が住居してゐる所ですが、其處に於ては、一九〇〇年から一九〇七年まで七年間の乳兒死亡率は、百の生産に對し八%を有してゐました。所が一九〇七年から十二年迄は、その死亡率が六・五%に減じて來ました。一年づゝに就いて云へば、一九一一年には四%、一九一二年には三・八%を減少し、爾來乳兒死亡率低下の度は今日もます／＼良い結果になり、目下三%内外にとゞまつて居ます。かくの如き狀態は如何なる都市にも見る事が出來ない好狀態であります。實に世界一であります。ニュージーランド一國に就いて見ましても、今や百の生産に對し乳兒死亡率は六%を示してゐまして、國としても他

に比例なく、實に世界一であります。歐洲ではスコットランドが乳兒死亡率の最も少い國とされてゐますが、とてもこのニュージーランドの好成績には及びもつきません。このやうに乳兒死亡率の少いニュージーランドとはどのやうな地形を有してゐる國かと云ひますと、長さ千哩、幅は廣い所で百八十哩位、人口は約百十萬内外で、人口は東京市の半數に當つて居ります。このやうに人口の密度が稀薄である爲め、貧民も少く、乳兒の死亡率も少いといふのは想像に困らない事であります、之に加へて科學的豫防法を熱心に講じたからであります。

然らば乳兒死亡率を減少せしめるに、かくも效果のあつた婦人及兒童保健協會は、常に如何なる活動をなしてゐるか述べませう。この婦人及兒童保健協會は通常フランケット協會と稱せられてゐます。ニュージーランドの幼兒乳兒に關する事柄を調査しようとするべく、フランケット協會が云々と屢々あらはれて來ます。なせフランケット協會と唱へられるかと云ひますと、其はこの婦人及兒童保健協會が起つた當時、ニュージーランドの總督の職にあつた人はフランケット氏でありまして、フランケット氏はこの事

業に多大の同情と讚助を與へてくれましたし、氏の夫人も亦少なからず後援をしてくれましたので、これにちなんで、この協會をフランケット協會と稱し、この協會に勤務してゐる看護婦をフランケット看護婦と稱する所以であります。この兒童及婦人保健協會の事業としていかなる事を實行してゐるかといふに、其は次のやうな各種の事であります。

第一、母乳獎勵、母乳が乳兒死亡率に多大の關係を有してゐる事は、獨逸の或る地方での調査に依れば、乳兒の死亡率は母乳榮養(自然榮養)と人工榮養(牛乳等)との間に一と十六の差がある、と云はれてゐるので、も明らかであります。又英國のヨーク市に於ても一と二十内外の差が生ずると云はれて居ります。是等調査は少し極端に示されてゐるものかも知りませんが、乳兒の健康を保持する上に、乳兒の死亡を豫防する上に、乳兒は母乳を以て養育すべきものである、と云ふ事は最も必要なものじあります。

第二、母及び幼兒の保健に關する知識の普及。乳兒の死亡率を減じ、幼兒の健康を保つには、どうして育児の知識を母親に普及しなければなりません。母親にこの知識が缺けて居つては、いかに他の方面で

やかましくとも、少しもよい結果をもたらさないであります。それで母親ひとり／＼に宣傳せんが

爲めに、種々の講演會を催し、雑誌新聞を利用し、通信教授をなし、冊子を發行し、書籍を著して、種

一ジーランドは前述したやうに餘り人口が多くない爲め、この宣傳が徹底的に隅から隅まで行はれたのでした。

第三、看護婦の活動、この児童及婦人保健協會に屬してゐる看護婦は、皆資格のある有力な人物ばかりが選擇されてありますが、妊娠、乳兒、幼兒の栄養狀態に對して常に深い注意を拂ひ、母子の保護に關する智識を普及して歩き、家庭全體の衛生に關する注意もしてゐます。

第四、母子保健に關する法律の改正。社會が既に母子健康問題に注意を拂ふやうになれば、最後の方法として、法律上の保護を得るのが、最も安全な適當な事でありますから、法律の改正に至るまで手をのばしたのであります。

第五、類似の事業との協力。この婦人及児童保健協會は、他の同様の目的を有する團體と互に共同し

て、人類の爲めの幸福を増進しようと、團體と團體との聯絡、調和を保つたのであります。

この婦人及児童保健協會は、本部をニュージーランドの首府に置き、八つの支部を地方に有してゐます。本部には會長副會長二十名内外の委員が居つて、皆婦人が委任になつて居ります。支部には地方委員があつて、一支部毎に十五人乃至二十人居り、更に支部は分れて委員會を組織して、この委員會は八十名位の會員から成つて居ります。この地方支部にも委員會にも婦人が中心になつて働いてゐる事は無論であります。

協會の中で人として最も活動してゐるのは看護婦であります。二十四五名の精練されたる看護婦がこの協會に屬して居ります。一人の看護婦は半經五十哩の面積の土地の責任を持つ事に定められてあります。東京から宇都宮までの間、東京から沼津までの間、と云ふ割合の土地の責任を一人で有する事であります。ニュージーランドは人口稀薄であります上、交通機關が完備してありますから、充分活動することが出来ます。看護婦は地方委員と相談して巡回の方法を定め、學校に於けるこの種の會に

出席したり、家庭會に出席したり、家庭訪問をしたりします。學校に於ては上級の女生徒に對して、乳兒及幼兒の取扱方法の講義をなし、子供を實際に連れて行つて實物教育を示すので、生徒は皆熱心に興味を持つて聞いて居ります。これはちよどアメリカにある「小さき母の會」と類似のものです。又家庭を訪ねて母親の相談相手となるばかりでなく、兒童健康相談所に定期に出席して、其處へ集る人々の顧問になります。この協會では人として看護婦がこのやうに尊い働きをしてゐます中に、一方物としては新聞の活動もめざましくあります。ニュージーランドの主なる新聞は、毎週一回づゝ一段二段は必ず乳兒欄が設けられてゐて、「我等の乳兒欄」(アワー、ペーパース、クラブ)と稱せられて、婦人も男子も子供も大喜びで愛讀して居ります。このやうに新聞の宣傳は實に有效に行つて居ります。

このほかに、婦人及兒童保健協會では、乳兒保養院を設立して居ります。之も協會の設立者なるドクトル、キング氏が同じく協會の附屬事業として設立し主幹してゐるのです。乳兒保養院は病兒を收容するばかりでなく、栄養不良な兒、虛弱な兒は母親も共に收容して、養生をさせるのです。乳幼兒に虛弱な

原因は母にありと認めれば、母の健康の恢復に力を盡すやうな病院は、他に餘り類を見ないのであります。最初はこの病院は小規模であつたのですが、ロンドンに於てドクトル・キング氏が一夕この病院に關した講演を試みましたので、多大の同情が集り、殊にハリスといふ人は莫大の寄附を申込んで來ました。一九〇〇年以來年毎に擴張されて來つゝあります。要するに以上はニュージーランドに於ける幼兒保護の狀態の大要であります。乳幼兒の死亡率を人智の考へ得る最少減度になし、母親の健康を増進される事が出來たのは、前述の如きニュージーランドの婦人達のはなばなし活動に原因してゐるのであります。乳兒の死亡率の低下は必ずしも豫防の設備及方法によるばかりとは云へないが、或る程度までは設備方法を徹底的に實施したならば、ニュージーランドの示すやうな程度に減少する事が出来るだらうと思はれます。乳幼兒の健康を増進し、死亡率を低下せんとするべく、ニュージーランドの如きは他の國に於ても幾多参考の資に値する點が少くありません。前述の事は乳幼兒保護運動の一端をはなしたに過ぎませんが、ニュージーランドがこの努力をますます續けて行きましたならば、どんなに偉大な事業が行はれる事であります。今やうやく乳幼兒問題の曉に達してゐる我が國は學ぶ點が多くあると思はれます。

設新江東橋託兒場に就いて

保母主任 梶塚 塚 要子

市社會局救護課の經營にかかる江東橋託兒所が、本所入江町二十四番地に新築なりて、去る六月二十日からいよ／＼開始される事になりました。

先づ此の託兒場の建築に就いて申上げますれば、新設費は總計で六萬九千七百五拾貳圓九拾壹錢、内譯土地買收費は參萬貳百五拾貳圓八拾錢、建築費は參萬五千六百五拾九圓參拾八錢であります。備品費は參千六百四拾圓七拾錢で、この中には事務用保育用備品、運動用具の費用も加つて居ります。その他雜費貳百圓を要しました。これは新設費の全部であります、經常費（但六月以降十箇月分）は七千百貳拾圓と定められてあります。この託兒場の敷地面積は二百九十四坪九・四五で、その中總建坪は百五十四坪五合あります。託兒場内部を詳細に述べますれば、來客や教師の出入する玄關の外に、小兒の出入する小兒玄關が設けられて、其處には下駄箱、傘置場等整然と並んで居ります。來客用の玄關からは、廊下

をへだてゝ直ぐ事務室になつて居りまして、事務室の前には、「子供を預けたい人は此處へお話し下さい」と振假名つきの札をかゞげて置きました。玄關から直ぐ見るやうになつてゐますから、この託兒場を訪れる人はどんな老人でも、また無學な労働者の妻でも、一見して子供を預ける手續が解るやうに致しました積りでございます。この託兒場内で最も廣い室は、乳兒室と遊戯室とであります。乳兒室は十八坪の廣さを有し、床は全部キルクを張りつめ、只今十臺の寝臺と乳母車、搖籃等があります。寝臺には柔らかい厚い藁布團の上に、更に綿のふつくりとはいつた布團、毛布、ねまき等をそなへてあります。小兒の數が増加するにつれて寝臺や乳母車、搖籃等も數を増す考へで居ります。乳兒室は窓が多くて日々りもまことにによろしく、通氣の加減も適當であります上に、この室の前には、板敷の露臺が運動場の方へつき出て居りまして、この露臺には屋根があり

ますから、夏は小兒達の涼み場となりませうし、冬は日向ぼっこをする所となりませう。遊戯室は三十五坪の廣さで、此處も乳兒室と同じく、牀は全部キルクが用ひられ、オルガン、其他の運動器具が備へられてあります。また十畳敷位の飼育室があつて、やつとはふ事の出来る位の小兒を入れて置く室であります。お晝寝をさせたり手工を教へたりする爲には、寝室兼手技室が二室、保育や食堂に用ひる爲めに、保育兼食堂が二室、其他乳兒控室、保姆控室、乳兒の食器を入れたり食物を料理したりする爲の乳兒食器室。病兒のための治療室、日を定めて小兒を入浴させる爲めの浴室、小兒の衣服を洗濯してやる洗濯所、小兒湯呑場もあつて、その湯呑場にはお辨當棚が備へられておりまして、夏は空氣ぬきがあり、冬は金網をあたゝめるやうにしてあつて、小兒のお辨當には充分注意を拂ふて行く積りでござります。其他便所、小使室、物置等も中々立派なもので、運動場も可成りに廣くて、ブランコ、スベリダイ等、小兒にあぶなくない低いものが備へられてゐます。託児所の建築としては、新しく理想的のものであります。

この託児場の經營方針を大體申して見ますと、受託児は百五十人(内二十六人は六箇月以上の乳兒)と定めまして、教育としては、幼兒には一般幼稚園の課程に準じて、遊戯、唱歌、談話、手技を課すことで致して居ります。受託時間は朝六時から夕六時までとして、休日は正月三日間及び毎月一日と十五日とにして居ります。保育料は、毎朝貳錢づゝとして、他におやつ代として貳錢、一日に四錢を要することにてあります。但し、おやつの他の食物お辨當のやうなものは各自持參せますが、乳兒でも母親が乳を與へに来るひまのないのには、特に牛乳を與へますから、その牛乳代として一合七錢位を要しますし、離乳期にある小兒は、普通の小兒のやうな食物を與へることが出来ませんから、お粥のやうなものや、馬鈴薯をすりつぶしたやうな種類の、極く柔らかい食物を、毎日私共保姆が料理をして與へようと思へますから、五錢前後の食費を頂戴しなければならぬだらうと思つて居ります。然し食物の費用は出来るだけ少くし、また保育料も事情に依りては減免することもあります。また毎月一回は保護者會を開きます又隨時に開くことも致しまして、保護者との親睦を

ばかり、育児上の相談にものつてやるつもりで居ります。只今保母は私をのぞきまして五人居りますが皆力を合せて盡力する考へで居ります。

私共の仕事は小兒相手でござりますから、中々時間割通りには實行が出来ないかも知れませんが、兎に角く時間割を定めて見ました。こゝへ兒童を乳兒、匍匐兒、匍歩兒、幼兒、幼稚兒の五種に區分して、左の通りの時間表を定めました。

(1) 午前六時——八時この二時間の中にばつ／＼母親が兒童を連れて来るものと看做しまして、八時迄は保姆監督の中に自由に遊ばして、兒童の集まるのを待ちます。

(2) 午前八時——九時、衛生及び整裝に取掛かるこそ、即ち手洗、結髮(女兒には必要に應じて)、爪切り、トラホーム治療、腫物、頭虱等の手當、鼻拭き、便所に行かしめます。乳兒と匍匐兒とは各其室に於て、硼酸水で口中を拭ひ、又目を洗ひ、顔を拭き、襁褓を取替へてやります。匍歩兒と幼兒は便所に連れて行き、又は室内に於て便器にさえます。

(3) 午前九時——九時半、幼兒及び幼稚兒を一室に

集めて、三十分以内のお話を聞かせます。同時に乳兒と匍匐兒と匍歩兒には、牛乳又は代用食を與へます。

(4) 九時半——十時、自由遊戯。

(5) 十時——十時半、手藝及び遊戯。

(6) 十時半——十一時、自由遊戯。

(7) 十一時——十一時半、手洗ひ晝食の準備。

(8) 十一時半——晝食(朝食が早いから晝食も三十

分位早くします)。

(9) 晝食後——十二時半迄、自由にさせます。

(10) 十二時半——晝寝をさせます。七八歳になりて晝寝の必要ないものは、寝たがる小兒には寝せて、小兒の自由にさせます。晝寝の時間は十二時半から午後二時までと定めてあります。場合によりて斟酌して頂きたいのです。

(11) 午後二時——二時半、遊戯、唱歌、手工等。

(12) 二時半——手洗。

(13) 三時——おやつを與へます。

(14) おやつ後四時迄——自由にさせて置きます。

(15) 午後四時——衛生、整裝を行ふのは、午前入場の時と同じです。但し入浴日にはおやつ後直に入浴

させます。入浴は夏季は毎日、冬季は一週二回位。
(16) 四時——六時、この間に歸宅の準備に取掛りまして、六時迄には全部退場させます。然し事情あるものは六時以後も留りても差つかへありません。こちらでは喜んでお世話を致します。

さてこの江東橋託児場は、煙突が空を覆ひ、雨が降ればいつまでも泥道となるといふ下町に立てられましたのですから、労働者の家庭の子供が全部預けられるのであります。お父さんもお母さんも、それぞれに工場へ日傭となつて労働するのに、子供があつては充分働けない、自分等が一日安心して子供の世話ををして貰ふやうな所があれば、といふ要求を充たす爲にされたのであります。いかに本所區には労働者が多く住してゐるか、また子供が毎年どの位生れて、どの位死するか等を見ますと、この江東橋託児所任務もいよいよ明らかに重大な事がわかります。

本所區労働者調べ(一般世帯數二六〇九二
労働者世帯數一一三七〇)

一般世帯數 労働者世帯數

柳島元町………一二〇〇 九〇〇
向島中の郷町………七九〇 四五〇

中の郷業平町	一七〇〇	八五〇
太平町	三二三三	一八〇〇
柳島横川町	七五〇	四五〇
柳島梅森町	一五八〇	一二〇〇
押上町	一五八五	一四〇〇
表町	一二〇〇	一五〇〇
荒井町	五五〇	一八〇〇
若宮町	一五〇〇	二二〇〇
番場町	八八〇	二二〇〇
中の郷横川町	五八六	二七〇〇
松倉町二丁目	一〇〇〇	三〇〇〇
松倉町一丁目	四二〇	一七〇〇
小梅業平町	四七〇	一五〇〇
南二葉町	八二〇	五六〇
緑町四丁目	六八〇	三二〇
緑町三丁目	八八〇	三七〇
長岡町	九〇〇	三八〇
花町	五八〇	四〇〇
菊川町	一六〇〇	三二〇
徳右衛門町	一〇〇〇	三五〇

本所區内に於ける出產調(大正七年度調)

			出産數	生産數	死産數
一	月	八二三	男四二三 女三六一	男二五 女二三三	男二九 女二九
二	月	七〇四	男三二六 女三一八	男二七四 女二六九	男五五 女三四
三	月	八九八	男四四八 女四〇五	男三〇 女三〇	男一四 女三四
四	月	五六三	計八五三 男二七二 女三〇一	計六〇 男二四 女二一	計四五 男二九六 女二七一
五	月	六二三	計五七三 男二六〇 女二四三	計四五 男二六 女二四	計五四三 男二八八 女二七三
六	月	四一六	計五〇三 男一九九 女一九四	計五〇 男二六 女二四	計四五 男二一 女二七
七	月	四〇四	計三九三 男一九三 女一八三	計二三 男一六 女二三	計三七五 男二三三 女二四五
			死產千分比七〇七四。		
			このやうに労働者の家庭の子供を教育するといふ		
			總計	七二六一	計二九
				男三四五二	男二六一
				女三二六八	女二七九
				計五四一	計五四一
				計六七二〇	計六七二〇

將來の誠に有望な立派な位置に、私のやうなふつつかな者が任じられましたことは、自分ながら心配の多い事でございます。私は大阪のブール女學校を卒業致しまして以來、二年程尙ほ研究を積みまして後、母校の教鞭を三年程とつて居りましたのでございまが、元來幼い子供に親しみを持つて居りましたので、どうかして將來は幼い子の教育に從事したいとその頃から望んで居りました。その中米國カルフォルニアに参るやうになり、幼児の保護や教育等に於ては我が國の先輩である彼地の有様を見るにつれ、尙ほ〜私の希望は切になつてまゐりました。その中基督教信者で傳導に從事して居りました只今の主人に嫁し、日本に歸つてまゐりまして、今はもう十五歳をかしらに六人の子持でございますが、どうかして若い頃からの初一念を貫きたいと存じ、又主人も大層賛成して来れましたので、勇み立つて今から新設されたについて、こちらの方へ参ることになりましたのでござります。私自身が現在幼いわが兒の母であり、又多年熱望してやまなかつた事業に、こ

れから専心して活動しようといふ希望は燃えて居りますが、何にしろいたらぬ所の多い身でございますから、社會の皆様に御指導を頂きたいと存じます。

○日本幼稚園協會總會

本會第二十六回總會は既報のことく去る六月二十五日午後一時半から女高師講堂で開かれました。湯原會長の挨拶に會は初まり松村博士の童語に關する講演に移りました。二時間にわたるこの有益にして興味ふかき講話に聽衆は吸ひこまれました。それから麴町小學校生徒の對話唱歌がありました。夢の太郎、はい〜息子、人形の病院などを快活に元氣に歌ひ語つて皆を喜ばせ笑はせました。その中でもハイ〜息子は滑稽な中に世の親達に對する一つの教訓となつてゐるようと思はれました。筋は、兩親の言ひ付けをよく守る一人の子供が、父と母との正反對な言ひつけをそのまま、實行する。ためそこに滑稽な皮肉なことがおこるといふのですある朝、學校へ行く時に父は草履をはいて日向を歩けと云ひ、母は足駄をはいて日陰をあらけといふ、そこでこの子は一方の足に、草履、他の足に足駄をはいてガツタリバツタリと日向と日陰を筋違ひにあるくといふので皆を笑はせます。聽衆の中でも大分母親が多かつたのですが、自分の家のことないはれてゐるようだと可笑しいながらに感じて居られました。

終りに一同茶菓を喫しつゝ互に懇談し薄暮の頃散會致しました。集るもの二百人以上で、まことに心地のよい會でした。

乳兒期から四歳迄の子供の食物

東京女子高師講師 一 戸 勢 子

子供の食物のうちで、最も注意を要する時期は、今迄お母さんのお乳で育てられた赤ちゃんが乳離れをする頃、満一年経たあたりの離乳期でございます。

この時期は餘程詳細な注意を拂へませんと、急變する食物の爲、乳児の身體を害し、取かへしのつかぬ病氣になつてしまふ例も度々ございます。それでは如何なる順序を經て、人乳から食物にうつたらよろしいか、と申しますと、大體次のやうな法則に従へますれば、間違ひのない事を思はれますから、一寸申上げて見ます。乳児にお乳を與へる時間を、朝六時、十時、午後二時、六時、夜十時の五度といたしまして左の通りの表をつくつて見ました。

朝 六 時	十 時	二 時	六 時	十 時
1 人 乳	2 人 乳	3 人 乳	4 人 乳	5 人 乳
1 ミルク(一合)	2 人 乳	3 ミルク	4 人 乳	5 人 乳

以上は離乳期第一期の食物で、今迄五回とも人乳を與へられてゐた子供に、ミルクを二回加へて、こ

れを三日間位續けて見て、乳児に及ぼす影響を注意致します。

I ミルク	I (人乳及び ビスクット)	2 ミルク	3 人乳	人乳
I (ミルクと ビスクット)	2 人乳	3 (ミルクと ビスクット)	4 人乳	5 人乳
I ミルク	2 重湯	3 人乳	4 ミルク	5 人乳
I (重 湯のもの)	2 (ミルクと パン女)	3 (重 米湯)	4 (ミルクと オートミル)	5 人乳
I (スープ入)	2 (ミルクと パン女)	3 (牛乳入)	4 重湯	5 人乳

以上は離乳期第二期の食物であります。毎日このやうに少しづゝの變化をつけて十日間位實行して見ます。

I (濃い重湯)	2 オート ミル	3 (重湯と 御飯粒)	4 オート ミル	5 人乳
I おまじり	2 パンと ミルク	3 (おまじり 卵を加ふる)	4 オート ミル	5 人乳
I お粥	2 おま じり	3 お粥	4 (重 湯のもの)	5 人乳

以上は第三期の食物でございます。このやうに綿密に注意して普通の食物に移つてまいりました

ら、決して乳児の胃腸を害する事がないと思ひます。さてこれから前述の離乳期の食物の料理を申上げませう。

第一、スープ入れ重湯の料理法

材料は白米五勺、スープ九合、食鹽小匙。

方法は白米とスープ六合を入れ、初めから中火で煮ます。約一時間半位煮ましたら、之に鹽と残のスープとを加へ入れ、また徐々に一時間半位煮ます。そして之を三角形の袋で漉して飲ませます。

第二、番茶入れ玄米重湯

材料は玄米五勺、番茶一升、鹽小匙一杯。

方法は玄米をほーろくでサツト炒て、之に番茶を入れ(約半分)中火で一時間位煮ます。それから之れに食鹽と残りの五合の番茶を入れて、今度又火で煮ます。かうして煮ますと、番茶の香も失せずに、なかへへ風味の良いものが出来るのでござります。之を先きの三角形の袋で漉して用ひます。

注意として申上げて置きたいことは、玄米は養分も多いし。それに炒られて居りますので香味もあり、

一種何とも申されない旨味もあつて大變結構なのであります。此の重湯を煮るに初め番茶を煎じて置か

すに、初め玄米に水を入れて煮て、充分に能く沸騰しました時に、番茶を糠袋状に縫つた袋に入れ此の玄米の中に入れて煮てもよろしいのであります。かうして煮る際には、番茶を入れ 数回沸騰した時に鹽を入れるのであります。鹽加減は少々薄めに入れて、約二時間半ばかり煮た時に、此の番茶の袋を取り上げ、あとはそれなりに煮るのであります。番茶は袋に入れて煮る方が番茶の濃淡も自由になりますから、此方が嗜好によつて如何様にもなり便利だと存じます。スープ入れの重湯、之も最初の中はスープの材料も考へなければなりません、スープとても一概には申されぬのであります。兎も角脂肪分のなるたけ少ない鶏肉の小胸筋か大胸筋を取つてスープを作り、之れで重湯を煮るのであります。又之に牛乳を漉してから加へ入れ、温めて食べさせてもよろしいのであります。又オートミルを煮て柔くなして、牛乳を入れて食べさせてもよろしいのであります。

第三、牛乳入れ白米重湯

材料は白米五勺、水九合、鹽小匙一、牛乳五合。

方法は、米をよく洗ひ水を水れて、中火で煮るの

であります。炊きながらかきませぬやうに氣をつけねばなりません。約二時間位煮ましたならば、之に鹽を加へ入れ、又あと一時間位煮るのです。そしてこれを三角形の袋に入れて絞らずに濾すのであります。濾された重湯に牛乳を入れ、又火で温めて飲せるのであります。

注意として申上げて置きたい事は、牛乳を入れてから底火で炊いてはいけないのでござります。牛乳は養分があり子供の食物としては最上位でありますから、折角此のよい成分を餘り高い温度で煮てはこはされて仕舞ふのですから、なるべく牛乳は低い温度で温める方がよろしいのです。牛乳の量は一合でも結構です。又重湯の中には卵黄や果物の汁などを入ってもよろしいのです。卵黄を交せる時には重湯の温度を四十度位まで下げなければなりません。卵黄は六十五度になると煮えて凝固しかかるからであります。それに風味をつけるために果汁を用ゐる時は果汁の多い果物なれば、生の中に絞つて之を三角形の麻の袋に入れて濾して、之を火からおろす際には加へ入れると、なか／＼風味がようござります。果汁の少ない菜果のやうなものは、果物を切つて少

量の水を入れて煮て、之を濾て加へるのであります。離乳期の食物を過ぎますれば、三、四歳の小兒の食物としては、發育盛りの身體を補ふ爲に養分の多いもの殊に虛弱なる小兒の爲の食物とに、注意を要するのであります。一二此處に例を上げて料理法を申上げませう。

腺病質や結核性などの子供の食物としては、タウリンの多い烏賊などはまことに結構なものですが、烏賊の肉は強靭でござりますので、咀嚼に困難でありますし、從て消化も容易でないのですから、之を消化良くするには、此肉を挽肉機にかけるのが一番よろしいのであります。

タウリンの損失せぬやう料理するには、燻でこぼしたりせずに料理するのであります。一度燻でこぼしては、折角の良い成分も損となるのであります。

第一、烏賊の泡雪蒸

材料は烏賊一尾、卵白一箇、味淋小匙二、鹽少々、醤油二三滴。

方法、烏賊の臓腑を取り去り能く洗ひ、皮を剥ぎましてから、細く切り肉挽機にかけるのです。若し肉挽機がありませんでしたら、庖刀でたゝいてもよ

ろしうございます。之れに味淋と鹽で味をつけます。之を器に適當に盛りまして、充分に熱して蒸籠の中で二三分間蒸しまして、之れに泡立てた卵白をませ、又蒸籠の中に一分間入れるのであります。食べる時に醤油を二三滴落して供すのです。

(注意) 烏賊を長くむさぬ方がよろしいのです。蒸過しては硬くなりますが、卵白も蒸し過しては泡が消えるのですから、一分間でよろしいのであります。

油ものを好まる方には之れを揚げることよろしいのであります。揚げる場合には、卵白は一寸を泡が出る位までにかきませ、之れをつなぎとして烏賊に入れるのであります。又卵白ではなくメリケン粉を水にて固く溶いて入れてもよろしうございます。

第二、布目烏賊の煮附

材料は烏賊一尾、醤油一勺、味淋一勺、片栗粉二
又、生姜少々。

方法は、烏賊の甲を抜き、臓腑を取り出して能く洗ひ、後ち皮を剥ぎます。それから之を適當の大きさに切ります。之に庖刀目を縦横に入れます(皮剥ぎし方へ)。それから鍋に味淋及び醤油を入れ

て沸騰させ、之に切つた烏賊を庖刀目の入つた方から入れ、一二分間煮るのであります。そして烏賊を取り上げ、片栗粉を水にて溶いて、此の煮汁の中に入れ、火にかけて手早くかきませるのであります。

糊状になりましたら之れに生姜の摺りし其の汁を少々入れ、之れを烏賊の布目のある方に付けるのであります。

(注意) 烏賊を煮る時には鍋に蓋をせぬのです、概して長く煮ては硬くなります。生姜はお子様方のためにには餘り多く入れぬ方がよろしいのです。只僅かに芳香を付ける位に。斯く庖刀目を入れたのは多少咀嚼のため時を要するのですが、挽肉機にかけたのよりは味の點はよろしいのです。

次に虛弱な御子様にはレチシンの多いものを攝らせるによろしいのであります。此レチシンは卵黄にもありますし、又魚類の脳や他の動物の脳にもあるので是等を上手に利用して與へるのも亦一法なのであります。

卵黄のみも長くは續きませぬから他のものをそれ工夫して御子様方にも食られるやうにすると、經濟的に榮養分が攝れるのであります。

凡て斯るもの、利用は其工夫にあるので例へばレチシンの多い鮭の脳や鰯の脳を利用せんには、鰯のやうの柔い骨はたゝいて後ち攝るなり肉挽器にかけ

たりするごよろしうござります。

鰯の頭を先づよく洗ひ、水氣を取りて後ち庖刀にてたくなり、又肉挽器にかけて摺りつぶすなりします。之れに山芋を摺つてつなぎに入れ、少量の味淋と鹽とで味をつけてあげるか、または煮るかします。鰯の頭ばかりでは少々色が悪くなりますが、之に肉を少し入れますと、外觀も美しくなりて一層よろしうございます。

山芋のない場合には、卵でもメリケン粉でも澱粉でも、つなぎとさへなるものであれば、何でもよろしゐのです。このやうに充分によく摺つて一度裏漉におかけになると尙ほ結構であります。裏漉にかける場合には、先づ魚肉（頭とも）を摺り之を裏漉にかけ、後ちつなぎの材料を入れるのであります。

取合せの材料は、御野菜類では京菜、小松菜、渡糸草、つまみ菜、キャベーチ、大根、牛蒡などは、此中に比較的カルシユームも多く含まれてありますから、少し工夫を遊さると、經濟的に弱い御子様の滋養の攝れるのであります。

御清汁には鰯の頭も全部先づたゝいて、之れに肉のこさず取つたものをませ合せ、つなぎの材料を入れ、前記のやうに味をつけ、昆布で煮出し汁を取り、一二度沸騰させてから昆布を取り上げ、此の中に鰯の摺身をつみ入れて入れ、鹽と醤油で味をつけ、此中に豆腐などを入れますと、ななかく結構に

頂けます。味の點よりも滋養の點よりも申分がないのであります。
特に注意すべきは、味のつけ加減であります。鹽は五人分位に小匙で軽く一杯入れながら醤油で味をつけるのであります。昆布出し入中に先づ鹽を入れ、此の中に摺身を入れ、後ち醤油にて味をつけ、豆腐を入れるのであります。鹽と醤油を前後させては、味が大變に異なります。御子様には刺戟するのではなくりませんかん入れずに此儘で、大人向じては之に生姜の摺つたのを椀に盛りてより入れると、一層味がよくなります。

骨と一緒に利用したものは、揚物にするごと、小骨なども一向さはらずによろしいので、前記の如くにつなぎを入れ、味をつけたものを熱した油であげて、之に熱湯をかけて油氣を去つて、他の野菜と一緒に煮附ましてよろしいのであります。

牛蒡と一緒にになさる時には、油を抜かずに其儘にして、サ、カキとした牛蒡に熱湯を入れ、火にかけて沸騰させて、之に揚げものを入れ、牛蒡を柔くなまで煮て、嗜好によりましては味淋砂糖を加えて煮るのもよろしいのであります。醤油は火よりおろす間際に入れて一二度沸騰したならば、火よりおろしておきます。

牛蒡は燂でたりするごよい成分が損なりますから、燂ですに煮るのであります。（以下次號）

○日本幼稚園協會主催夏季

講習會

私共幼稚園に關係するものはこれ迄永い間、幼稚園の唱歌に對して何となく物足らない感じをいたいで居りました。意に満たぬながらに舊來のものを傳へたり、新作をあれやこれやと獵りまはつてみますが、それとても暗中摸索の思ひがあります。

幸にも今夏は本會主催のもとに斯界に造詣深き弘田龍太郎先生を煩はして特に幼稚園の唱歌について教を乞ふこととなりました。

講習は別項にございます通り七月二十五日より二十九日迄の五日間毎日午後一時より三時迄です、この間に理論的方面と實習とを合せ、特に實際的の方面に力を入れると先生は仰せになつて居られます。

凡そ四十種の歌曲を教へて頂く筈です。尙毎日時間の許す範圍内に於て、特に有志の人々のために器樂の方も指導して下さいます。また終りの方の何時間

かは唱歌とはなす事の出來ない動作遊戯の實習、及び特に幼稚園児に適するよう斯道の大家を煩はして作歌作曲せる對話唱歌をも教へて頂く筈になつて居ります。

かかる好機會が私共を待つてゐます。何卒會員と否とをとはず多數御出席下さい。そして私共はお互に少しでもよいものを用意して幼ない者に對したいものでござります。

(追て會資金貳圓(會員は二割引)申込は七月二十日迄に東京女高師附屬幼稚園内日本幼稚園協會宛。尙御希望の方には宿泊所の御紹介を致します)

○文部省主催保姆講習會

前號に申上ました通り今迄の文部省保姆講習會は来る七月二十五日より三十一日迄東京女高師講堂で開かれます。詳細は六月下旬の官報に發表されました。今年の課目は次の通りです。

一、幼兒保護事業に就て

内務省嘱託 小澤

一君

東京女高師教諭

竹島茂郎君

一、幼兒と遊戲

東京女高師教授 二階堂 トクヨ君

テ五十七坪五合ノ運動場ヲ擴張セリ爾來十周年年々多少ノ相違アル
モ概シテ百三十名乃至百六十名ヲ下ラズ十年間通ジテ千四百六十八
名ノ兒童ヲ收容セリ。

経費

○戸平安幼稚園創立拾周年記

念式報告

起源

從來兵庫ニハ公私立各一ヶ所宛ノ幼稚園アリシノミニ本園周圍
ノ兒童ヲ容ル、園ナキヲ恨トシ是等ノ幼兒ヲ救ハ目的ヲ以テ創立
セルモノナリ。

場所

歴史上有名ナル一遍上人示寂ノ靈地淨土宗眞光寺境内ノ空地ヲ選
ミ建設セリ(此建坪百八十五坪)

命名

平安幼稚園ト命名ス。

其理由 平宗國清盛之時代ニ於テ祇王祇女ノ遺蹟トシテ有名ナル

平安山眞福寺(今ハ廢寺トナル)其名ニ因ムモノナリ。

建設

明治四十四年三月五日上棟式舉行同年六月二十五日開園式舉行。

収容

最初定員六十名ナリシガ志願者案外多數ニシテ男女併セテ百〇三
名ノ入園ヲ見ルノ盛況ヲ呈セリ故ニ、

第二期増築

ノ止ムナキニ至リ大正三年十二月ニ四十七坪ノ遊戲室ヲ增築シ續

右ノ年合計二萬五千六百圓ナリ試ニ之ヲ兵庫區公立ニ比スレバ公
立ニテハ千五百六十人ノ兒童ニ對スル經費實ニ四萬四千二百圓ニシ
テ殆ンド同等ノ收容力ニシテ經費ハ倍額ニ昇ルノ差アリ。

保育方針

體育ト品性ノ培養ヲ主眼トス。

第三期 増築ノ計劃中

園長及保母

現園長鹽見龍江(東京女子高等師範學校保育實習科卒業)外五名ノ
保母殆ゾド獻身的ニ勤キツ、アリ。

何レモ外形ハ裝ラズ專ラ内容ノ充實ヲ計リ園自身トシテモ亦家庭
ニ於テモ其負擔ノ輕減ニシトメ然モ實蹟ノ揚ランコトヲ目的トス。

尙ホ式日ノ參列者ハ本市本庄教育課長上谷庶務課長白木警察署
長、小磯保育會長市區會議員市各學校長幼稚園長等ニテ中澤創立者
ノ式辭本庄小磯、白木諸氏ノ祝辭園長ノ挨拶等ニテ式ヲ了リ別室ニ
テ茶菓ヲ饗セラレタリ。

獨逸の兒童救濟に對する感謝狀

本會が曩に獨逸の饑えたる兒童に對する有志の同情を集めて小額の金員を寄贈したるに對し、駐日獨逸大使ゾルフ氏は、自ら筆をとりて、鄭重なる挨拶の書面を本會によせられました。

謹啓承る所に依れば日本に既に千有餘の幼稚園有之候由又其發達を進すために日本幼稚園協會が存する事はフレーベルを産せし吾人獨逸人に一大興味を與へ候。

又近頃新聞の報道に依れば貴國會其他の有志家は幼少年保護に就て大なる宣傳をせられ候由國家百年の計は須らく後繼國民の健全なる發達を待たざるべからざる事を日本國民が了解して此の舉に出でらるゝは同一の精神を有する吾人獨逸人に一種いふべからざる興味を惹起せしめ日本が一代毎に益々善更且つ健全なる發展進歩をして世界民族に大なる驚歎を與ふるは故なきにあらずと今更詳しく了解仕候。

此度弊國の幼少年社會が大戰に依つて生じたる生活上の災禍より更にその餘波を蒙りて一大慘状を呈し候處實協會は之に對して大なる同情を有せられ本年三月十五日同情號を發行せられ且つ救助費募集の檄をかゝげられ候事について予は大なる感謝を有するものに有之候。

日本に於て幼稚園の兒童並に保育諸君は又同一なる同情を以て貴會に金員を寄せられ金百貳拾圓を本月八日御届被下正に拜受仕候此の御救濟費に對し又貴會並に貴會に送金せられたる御方々の御

精神に對して小生は大なる感謝を呈し候、又お話に依れば右金員の中には兒童が玩具又は甘味を求めるために父兄より得たる金子を其儘貴會に寄せたる者も少からざる由斯くの如き施物に對する人間の感動は富豪より巨大なる資を得たるよりも更に大なるものあり一大民族を饑餓に陥し入れて而して快哉を呼ぶ人間は暫死して尙且つ足らざるあるを思はしめ候。

日本のかなき兒童に斯くの如き行為が存することを見て日本の民族史に有名なる、敵に體を與へしがことき事實は日本に於ては敢へて卓越せる知勇完備の武士に屬することにあらずして日本の民族性の自然のうちに存するものなるを知り得申候。

予は近頃此處彼處における日本兒童の獨逸兒童に對する同情と此度更にまた幼稚園の兒童の斯くの如き行為に因て予は日本の民族性の善美なるに敬服情く能はざる者に有之候、御送與の金員ば直ちに本國當局に送附可仕候本國に於ては一種特別の感謝と感動とを惹起するは予の確信するところに有之候。

該金員は目下爲替の事情に依り本國に達すれば頗る大なる額と相成多くの饑餓を救ひ得らるゝ事は確實に有之候。

予は再び茲に予自らより又本國の兒童並に其父兄に代りて貴協會に深厚なる感謝の意を表し候。敬具

大正十年六月二十七日

獨逸大使 ゾルフ

日本幼稚園協會御中

(追白、金員領收書同封致置候)

日本幼稚園協會役員

幹事會評議員

長

湯原元一

幹

倉橋惣三

評議員

(イロハ順)

乙

竹岩造。吉田熊次。

田子一民。

棚橋源太郎。

丙

中ふさ。乘杉嘉壽。

野口援太郎。

野口幽香。

安

井哲。横山榮次。

藤井利譽。

下田次郎。

滋

谷徳三郎。日田權一。

弘田長。

菅原教造。

幹事

(イロハ順)

井

村くに。坂内ミツ。

星野権原。

及川ふみ。

和

田實。和田くら。

野原琴柱。

高橋なみ。

土

川五郎。奈良山梅。

向井琴柱。

小山花。

崎山黒瀬

艶茂。

星野権原。

及川ふみ。

和田實。

和田くら。

高橋なみ。

小山花。

責任を以て推奨する

彩色帖とクレオン

自然の衝動により微細筋を反覆練習して脳の中権に技工の傾向を作らんとする最善の材料として研究されたりし彩色帖ミ之を彩るクレオン(筆の軸大の色鉛筆の心の固まり)は完全に出来上れり
○彩色帖の繪は最も單簡にして而も其の情趣眞に迫る
○繪柄は子供の日常経験せる且つ最も喜ぶものを選べり
○繪の數は一ヶ月四枚宛四十八圖一ヶ月年分

- 上等畫學紙八ツ切に印刷し彩るべき面積充分なり
- 定價 彩色帖 參拾五錢、クレオン六色入 一箱 參拾錢 見本代七拾錢 金のこと

東京神田今川小路

株式會社 フレーべル館

電話九段一三〇七
振替 東京一九六四〇